

◆PET-CTドックのご案内◆

当院ではがんの早期発見のために、PET-CTドックを実施しております。

◆PET-CT（18F-FDG）検査とは

がん細胞、炎症細胞が正常に比べて、より多くのブドウ糖を細胞に取り込む性質を利用した検査です。放射性同位元素（18F）を含む、ブドウ糖に似た放射性医薬品（以下FDG）を静脈注射します。注射後60～90分経つとFDGが全身にいきわたり、この時のFDGの分布状態（つまりブドウ糖の代謝）を撮像し、画像化・定量化（数値化）して検査します。PET撮像と同時にCT撮像も行い、PET（代謝機能画像）+CT（形態画像）の2種類の画像を組み合わせることで、より正確な診断が可能となります。

◆悪性腫瘍の診断について

●PET-CT検査はがんの描出に優れた検査ですが、腫瘍の種類、臓器によっては診断困難な場合があります、また、10mm未満の小さな病変の検出は難しいです。

◆安全性と危険性

軽度な副作用として気分不良、発熱、嘔吐、血圧低下等の報告が極稀に（全体の0.2%）ありますが、重篤な副作用（死亡、ショック等）の報告は現在ございません。被ばく線量として当院ではPET-CT検査撮像ガイドラインを遵守した投与量（PET）、出力線量（CT）により検査を実施しており、身体に影響を及ぼすことはありませんのでご安心ください。また、装置管理は、日常点検、定期的なメンテナンス実施により安全性および性能を担保しています。

◆検査の方法

主な前処置として、検査の6時間前から絶食していただきます（ただし、水・お茶は飲んでもかまいません）。FDGを静脈注射し、約60分後と120分後に仰向けに寝た状態で、2回撮像します。各々、撮影時間は約30分です。検査開始から終了まで約3時間かかりますが当院の特徴として、2回撮像することにより、診断精度を高めています。

◆原則、検査を行えない方

- 糖尿病の方で血糖値のコントロールができていない
- 除細動付心臓ペースメーカーを使用している
- 妊娠の可能性がある
- 妊娠中
- 仰向けで約30分の安静（静止）ができない

1. 検査項目 PET-CT
2. 検査結果 人間ドックとあわせてPET-CT検査結果と画像データを郵送いたします。
3. 申し込み **人間ドック受診日の10日前までにドック健診センターへお申し込みください。必要な書類をお送りいたします。**
人間ドック受診日とは別の日に受診いただきます。